

工事名	令和5年度下立縦工工事
発注者	北陸地方整備局 黒部河川事務所
受注者	共和土木株式会社
工期	2024年3月16日～2025年3月28日
施工場所	富山県黒部市宇奈月町浦山地先
問合せ先	URL : http://www.t-kyowa.co.jp



掘削完了

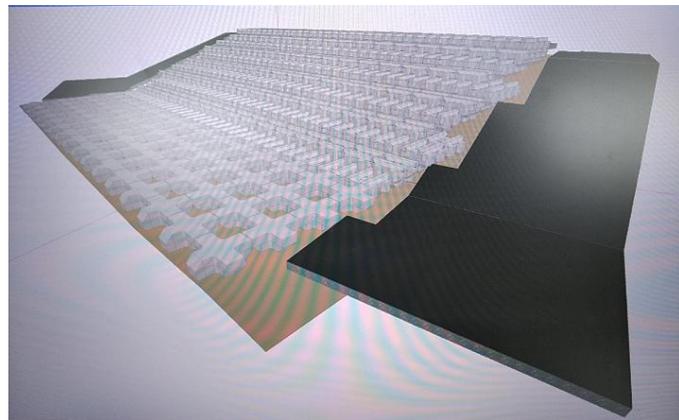


ブロック据付完了

【工事・業務概要】

本工事は浦山地区(浦山新地先を含む)、中ノ口地区にて施工を行う「点在型」工事である。浦山地区では、河川内を掘削し仮締切を設けて法覆護岸工、根固め工を設置する。また、掘削土・仮置き土を黒部川右岸10.4k付近(浦山新地先)の高水敷へ運搬し、整地を行う。中ノ口地区では、浦山地区で施工する根固め工に用いるブロックの製作を行う。

河川土工	掘削(ICT) 25,100m ³ 、埋戻し 20,900m ³ 、盛土 1,400m ³ 整地 6,500m ³ 、法面整形(ICT) 1,930m ² 、残土処理工 1式
法覆護岸工	縦工(据付) 374個、根固め工(製作・据付) 64個 天端保護工・羽口工(繊維製かごマット製作・据付) 1,220m ²
仮設工	工事用道路工 1式、土留・仮締切工 1式、水替工 1式



C I Mによる完成イメージ

●有効性

I C T起工測量は、測量対象面積が広いためドローンでの測量は有効的である。現場作業では、掘削および法面整形において設計データを作成することで丁張設置作業が不要となり、現場作業の削減が図られた。また、オペレーターはモニターで設計ラインの確認が可能となり出来形の向上が図られるとともに、手戻り・手直し作業がなくなった。

●先進性

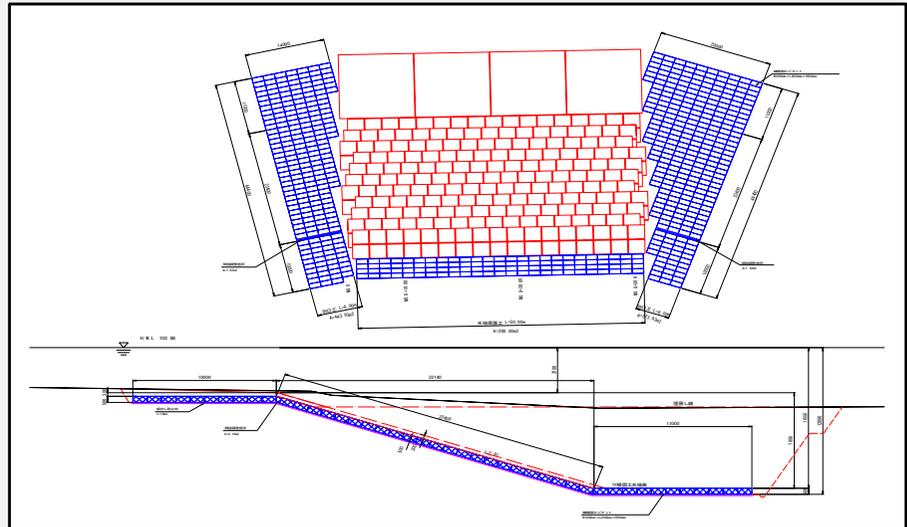
起工測量の3次元測量データを基に数量算出(樹木伐採面積・掘削及び埋戻し土量・整地土量)を机上で行うことで、施工管理者の負担軽減に繋がった。また、縦工・根固めブロック据付用に3次元データを作成し、丁張設置や出来形管理に活用した。丁張は任意の位置でも迅速かつ高精度で設置することができ、施工中、出来形をワンマンで随時確認することが可能になった。

●波及性

建設業界の最大の問題である『担い手不足』の観点から、高校生への現場見学会を実施し、建設業のアピールを行った。また、生産性向上や週休2日など働き方改革を進めていくにあたり、自社職員のI C Tスキル向上を目的とした講習会を実施した。

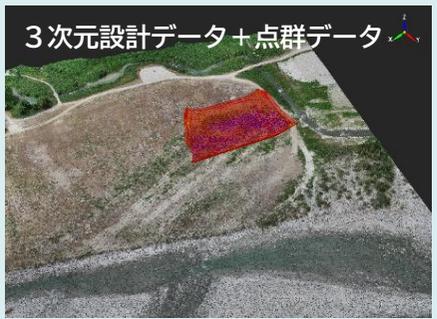
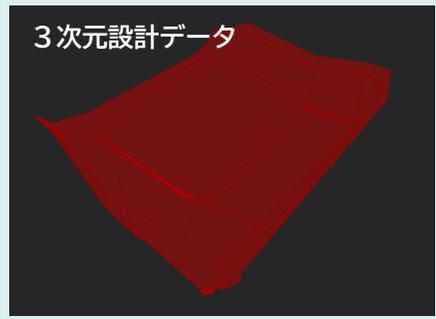


位置図



平面図・横断図

有効性

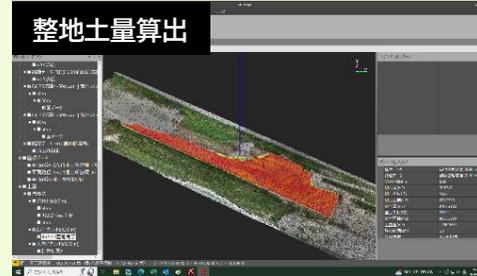
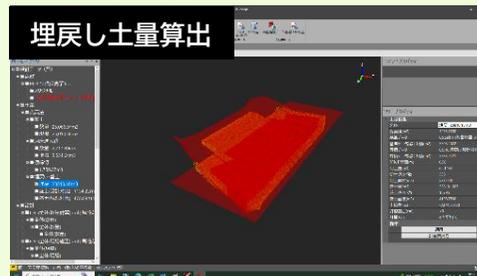
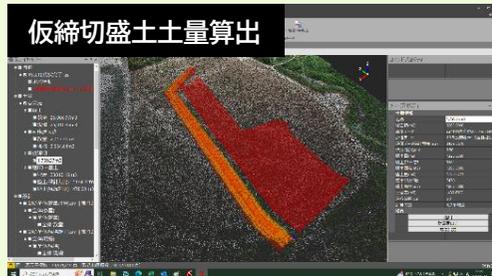
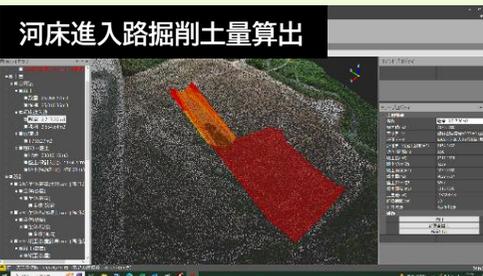
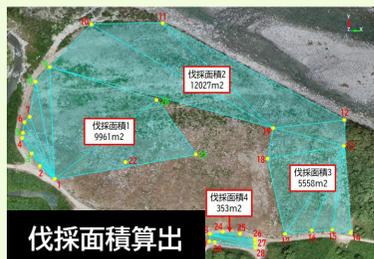


出来形合否判定総括表

区分	項目	規格値	社内管理基準値	判定
空地 標準状態	平均値	12mm	±50	±40(90%)
	最大値	142mm	+150	+120(90%)
	最小値	-70mm	-150	-120(90%)
	ゲータ数	1890	1点/423以上	1点/423以上 (100%)
	許容面積	1000㎡		
法面 標準状態	断面枚数	3	0.3%以内 (6枚以下)	0.3%以内 (6枚以下)
	平均値	25mm	±70	±56(90%)
	最大値	153mm	+100	+128(90%)
	最小値	-70mm	-100	-120(90%)
	ゲータ数	1834	1点/423以上	1点/423以上 (100%)
基面 標準状態	許容面積	1834㎡		
	断面枚数	0	0.3%以内 (6枚以下)	0.3%以内 (6枚以下)
	平均値	12mm	±50	±40(90%)
	最大値	142mm	+150	+120(90%)
	最小値	-70mm	-150	-120(90%)

※シートマップは撮影時を含む全てのデータを対象とする

先進性



波及性

高校生への現場見学会



ICTスキルアップ講習会

